



申請におけるQ&A（よくある質問）

●申請方法を教えてください。

助成金専用サイトより「応募フォーム」にアクセスしてください。
1作品ずつ応募フォームに入力し、添付書類をアップロードのうえ、申請してください。

<https://www.vipo.or.jp/project/jppp/honyaku/>

※助成金交付申請書は、専用サイトよりダウンロードいただけます。
※添付ファイルは各10MBまでの容量制限がありますのでご注意ください。



●助成額と考え方を教えてください。

具体的な例でご説明します。

（例1）企画書の翻訳費用が11万円（税込）の場合、
国内消費税は対象外となるため、10万円が助成金の対象となり、
証拠書類の検査後に、10万円が助成金として振り込まれます。
※実際の翻訳金額が10万円より安かった場合、その税抜金額が助成金対象となります。

（例2）企画書の翻訳費用が22万円（税込）だった場合、
助成金の上限が10万円のため、証拠書類の検査後に、10万円が助成金として
振り込まれます。

●申請したら、すぐに翻訳を始めて良いですか？

事務局からの「交付決定通知書」の交付をもって、事業開始日となります。
その前に発注を行うと「交付決定前発注」となり、助成金の対象外となりますので、
ご注意ください。

●採択書籍はどうやって決まりますか？

事務局が委嘱する外部の有識者で構成された「審査委員会」によって、「採択」「不採択」
が決定します。
なお、審査委員会の開催日程・議事録・審査委員の名前等は開示しておりません。

●審査基準を教えてください。

下記のポイントで審査されます。

- 1)多様で豊かな日本の活字コンテンツ文化を反映する内容となっているか
- 2)海外（英語圏）の需要に即した内容となっており、受け入れられる見込みがあるか
- 3)海外展開に向けた体制とスケジュールが考慮されているか
- 4)海外（英語圏）に売り込むための具体的なビジネスプランがあるか

※2)3)4)は、応募フォームに入力欄がありますので、できるだけ詳細にご記入ください。

●証拠書類の検査とは何ですか？

翻訳完了後、事務局宛に、発注書、請求書、支払い証明、成果物（完成した企画書、
サンプル等）の証拠書類データを提出いただきます。
事務局による証拠書類の検査の後に、助成金の支給金額が決定します。